

2021 年度入学式の校長メッセージ

花鳥に春爛けて、百花繚乱の明るい季節となりました。キリスト教の教会では、キリストの復活を数日前に祝い、その喜びの中で皆さんを光塩にお迎えできることは、大きな喜びです。光塩女子学院中等科・高等科への御入学おめでとうございます。

皆さんは、小学校・中等科での学びを終えられ、今日から光塩女子学院中等科生・高等科生になりました。中等科・高等科の時代は、皆さん御自身でも考えられないほど、また周囲の大人も想像を絶するような、驚異的な成長を遂げられる魔法にかけられたような時空です。皆さんが、6年後・3年後に光塩女子学院で学んで良かった！と思って戴けるよう、有意義で楽しい学校生活を実現するためにチーム光塩一丸となって力を尽くしたいと、私も今からワクワクしています。

この一年、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響で、日常が非日常となったような「ニューノーマル」の日々が続きました。そのような不測の事態の中、「今・ここ」に新入生の皆さん、保護者の皆様、そして光塩女子学院の教職員が一堂に会して集えたことは有難いことです。偶然に一つの場所にいるとは、とても思えません。私たちは、神様の計らいでここ光塩女子学院に必然として呼び集められたのです。奇跡の出会いだと確信しています。

折しも今年は、光塩女子学院の創立 90 年にあたります。創立者マドレ・マルガリタは、「あなたは光です。あなたは塩です」という神様からの大切なメッセージを伝えるために、スペインからはるばる海を渡って日本を訪問し、カトリック学校の創立を決断されました。その 3 年後、90 年前の 4 月 6 日、光塩高等女学校の第一回入学式が、マドレ・マルガリタ臨席のもと、校長と 7 名の教員、そして 28 名の生徒を迎えて執り行われたのです。当時の写真やマドレの書かれたものからは、無いものだらけで始まった光塩女子学院の様子が窺い知れ、現在の学校の生徒数・教員数をはじめ、施設・設備、教育内容の充実を思うと、隔世の感を禁じ得ません。光塩女子学院が名実ともに発展を遂げることができたのは、ひとえに御協力くださった多くの方々のお蔭と、感謝の念に堪えません。

マドレ・マルガリタの目指した教育は、一律な規則に合わせるのではなく、一人ひとりの個性を尊重しながら「その人（ペルソナ〈＝パーソナリティ〉）の神秘」を大切にするというものでした。また、マドレは、創立までのプロセスにおいて「日本の学校を実現させるためならば、修道院の全員は水とパンだけで長い間生きる犠牲をいとわないことを信じてください（1930 年）」という言葉も残されています。マドレの姿勢は、まさに、光塩の建学の精神である「光と塩」、即ち私たち一人ひとり神様から創られたかけがえのない存在であるという真理、そして、燭台の蠟燭が身を溶かしながら光を放ち、塩が自ら溶けて味をつけたり防腐剤になったりするところから導かれた、「他者のために生きることを喜びとする」生き方そのものでした。マドレによって根づいた「光と塩」の精神は、90 年の時を経て

脈々と受け継がれているのです。

学校目標「光と塩」に就いては、今年度も昨年度に引き続き「塩 SALT」に着目し、「S・A・L・T」を頭文字にもつキーワードを用いて、具体的に環境・世界・学問・自己と向き合っていきたいと思います。

Sustainability （持続可能性 — 環境問題）

Ambition （大志 — 夢の実現）

Lux Veritatis （真理の光 — 学問探究）

Tolerance （寛容 — 多様性）

「学校ルーブリック」を活用し、学年進行の目標とも連動させて授業や総合の時間をはじめ、日々の学院生活において実践していきましょう。

「SALT」の詳細や学年進行の目標の内容説明は、明日の始業式でお伝えしますが、混迷の時代を生き抜くために、「光と塩」の精神を、今の時代にどう繋げるかが重要です。今日は、学院生活において、「光と塩」の精神をいかに反映させていくかについて、学校生活・学びに関連させつつ少し一緒に考えてみたいと思います。

まず、毎日の生活においては、「ホスピタリティ」溢れる関わり合いが眼目です。日々を共にする御家族・お友達・先生方も、皆さん一人ひとりと同様にかけがえのない存在です。その方々を大切にするために、「心をこめて」接してほしいと願っています。「心をこめる」からは、一意専心・一生懸命・誠心誠意等のイメージが湧いてくると思いますが、ある辞書の語釈には「相手を思う気持ちで心の中を満たす」とあります。その方に接している時は、その方のことに集中する、例えていうと美味しい物を食べる時、（カルパッチョを食べる時はカルパッチョに、オニオングラタンスープの時はオニオングラタンスープに専念！）のように自分の思いや時間を対象に捧げることが「心をこめる」ということではないでしょうか。「心をこめて」接することで、相手に「自分は受け容れられている」という感覚を抱いてもらえるように努めてみてください。この姿勢が「ホスピタリティ（歓待）」に繋がると思います。そして、「ホスピタリティ」は、朝のおはようございます！の挨拶から、授業中の学びの態度、お掃除への取り組み等、様々な場面に反映してきます。他者にも自分にも温かな「ホスピタリティ」の心に向けて爽やかな学院生活を送ってください。

さて、今日から中等科・高等科での新しい環境での学びが展開されます。学びの目的は、知識を得て教養を深めるため、将来の夢を叶えるため、受験のため、成績を上げるため等、数限りなく想定できます。その中で、特に強調したいのは、「セレンディピティ（準備をしておくことで偶然をものにし、チャンスをつかむ力）」を身につけることで、幸せを引き寄せるという意味合いです。「セレンディピティ」を得るには、今の自分に一見不要に思えるような対象であっても、将来チャンスをつかむために必須の知識・教養・技術であるかもしれないと慈しんで疎かにせず、習得してゆく心の強さが必要です。多くのアンテナを高く立

てて情報をキャッチし、内容を掘り下げて深井戸の水脈を繋げてダイナミックに学んでください。実は、今般のコロナ禍において、私にとって様々な判断の助けになったのは、100年前の「スペイン風邪」に関する書籍からの学びでした。流行はすぐには収まらず三年に亘って続いたこと、都市封鎖の実施状況で流行状況が大きく異なったこと、後になるほど流行が激烈であったこと等の歴史的事実を早い段階から知り得たことは大きな恵みでした。私は国語科の教員でしたが、大学受験の小論文対策のために、受験期の高3生と共に文理の枠を超えて医学・生命倫理・科学等、様々な分野へチャレンジできたことは、ハッとしてグッド！ 幸せな体験でした。そして今も、一つ一つの未知のジャンルに、主体的に我がこととして取り組むことで、学びのプロセスを歩んでいます。新型コロナウイルス感染症は、発生から一年以上を経て、変異株による感染拡大、緊急事態宣言解除後の感染者数リバウンド、ワクチン接種のあり方等、未だ次々に課題が勃発しています。世界にも、身の回りにも「探究」すべきテーマが目白押しです。皆さんも、中・高等科の時代に、御自分の本領を見つけて底力を鍛錬し、盤石な基盤を築いてください。その礎をもとに、問題発見と課題解決の力を涵養して、他者のために生きることを喜びとする生き方に繋げてほしいと願っています。日々の学びの全てが、将来の人生の豊かさにつながっていると信じて、今も未来も輝くために、ダイヤモンドのカラット数を上げるべく全力投球をしてください。

世界では、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響でパラダイムチェンジが続いています。コロナ以前と異なる世界に向けての歩みを進めてゆく心構えが必要ですが、その際に心に留めるべき視点は「いのちへのまなざし」ではないでしょうか。生きとし生けるものの命は、宇宙の遙かな歴史とも連動しつつ、想像を絶するような偶然と奇跡の連続によって織りなされました。神は、人間の誕生を祝福し、各人が獲得した新しい可能性が開花してゆくことを望んでおられます。御自分のいのち、そして「今・ここ」で共に生きているすべての方が「いのちを十全に生きることができるよう」(『いのちへのまなざし【増補新版】』日本カトリック司教団著 カトリック中央協議会刊 P8)に、「すべてのいのちを守る」ために、新型コロナウイルスに対しての甘えと過信・油断を払拭して、「すべてのいのちを守る」気概を持って行動しましょう。

コロナ禍で先行きが不安な状況の中だからこそ、「神様から創られたかけがえのない存在」であるありのままの自分を大切に、長所も欠点もありのままに認めて自己肯定感を高めることが肝要です。小さい物差しで物事を微視的にだけ眺めていると閉塞感でしんどくなってしまうことがあります。巨視的な視野に立って大宇宙ミクロコスモスの叡智に目を向け、神様の声に触れて癒されてください。夢と憧れを心に描いて、単調な基礎鍛錬に負けず、自分の本領で大きな花を開花されるよう、たくさんお祈りしています。目標は高く、計画は緻密に、そして実行は確実に！ 脳は、楽しいと感じている時により一層活性化します。ポジティブシンキングで勝負脳を鍛え、夢の実現に向けて今日からファイト！です。

最後になりましたが、保護者の皆様、小学校・中学校の課程を終え、一段と成長なさったお嬢様方の御姿を前に、喜びも一入でいらっしゃることと存じます。

お嬢様方の成長の大切な時期を、光塩女子学院にお託しくださったことに心より感謝申し上げます。お預かりいたしましたからには、お嬢様方の学びの環境の充実と豊かな学院生活のために、私ども精一杯励む所存です。

お嬢様方は、思春期という成長の過程で多くの体験をなさることと存じます。信頼関係に根ざした御家庭での親子の関わり、お嬢様方の意思を尊重されての御家庭での対話、心の通い合いがとても重要な時期です。どうか、常に、見守り、変わらぬ無償の愛を持ってお嬢様方に寄り添って戴けますよう、切にお願い申し上げます。

お嬢様方のより良い成長のためには、御家庭と学校との誠実な関わりと信頼関係が不可欠です。保護者の皆様からの忌憚のない御意見と温かい御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

本日は、晴れの御入学、誠におめでとうございます。